ジオフォーミュラを使った新規オブジェクトの作成

ご存知でしたか?...「串刺し演算機能(ジオフォーミュラ)」処理を使うと、地理空間 入力オブジェクトの属性からセル値を計算して、新規ラスタオブジェクトを作成できます。

ジオフォーミュラを使って新規オブジェクトを作成することで...

- 複数の入力オブジェクトから新規ラスタオブジェクトを生成できます。
- SML スクリプトを使って新たなセル値を計算できます。
- 出力ラスタのラスタタイプ、投影法、範囲、セルサイズ、ラスタサイズを設定できます。

📼 GeoFormula 📃 🔳	🛛 📼 GeoFormula Object Combinations	3 [挿入 (Insert)] メニューから
How do you want to start?	File Edit Insert Syntax Help	Field [シンボル(Symbol)]を選
🗸 Create new formula using wizar		Script
Create new formula using dialog	Objects Values Script Output	Operator て入力オブジェクトの名前を
💠 Open an existing formula	if ((_YIELD_OAT == 24) and (_YIELD_WHEAT==19))	Keyword スクリプトに挿入します。
	return (1); else	Class
OK Cancel Help	return (0)	
最初にこのトグルボタン	— 入力オブジェクトの属性を使って出力ラスタのセル値を	/ 🥂 [挿入 (Insert)] アイコン
をオンにすると、入力オブ	計算するスクリプトを入力します。上の図では、2 つの	Script Reference
ジェクトを選択するため	入力ラスタオブジェクトが使われています。	
のプロンプトが出ます。	11271	Constants
	/ ([実行(Run)] アイコン	Variables Rester_YIELD_OAT;
	GeoFormula Object Combinations	
	File Edit Insert Syprax Help	YIELD_OAT_X File: C:\Documents a
-		_YIELD_WHEAT Description: YIELD-OAT
ľ	Objects Values Script Output	_YIELD_WHEAT_Value
「屮甴 (Output)] タブパ	Dester Times 4 bill interes (bines)	_YIELD_WHEAT_Y
ネルでは、出力するラス	(Motok Boferoneo	_context
タタイプ、投影法、範囲、	Match Reference	⊞ Functions
セルサイズ、ラスタサイ		E Keywords Interators
ズについてのパラメータ		Examples
を設定します。スクリフトにより生成される値の	Specie Projection. Geographic	111
全範囲をカバーするよう	Calast Sector	上の図では、[変数 (Variables)] の項目が開
に適切な [ラスタタイプ	Coll Size: 20.00 meters	き、入力オブジェクトや他の変数のリストを
(Raster Type)] を選択す	Rester Size: Lines: 172 Columns: 172 Match TNTlito	小していま9。フスダの石削を迭折し、[押八] アイコンをクリック」て選んだ名前をスクリ
るようにします。		プトに挿入します。
-		

ジオフォーミュラを使って新規オブジェクトを作成する方法

- メニューバーから [スクリプト (Script)]>[串刺し演算機能 (ジオフォーミュラ)...(GeoFormula...)] を選択します。
- 〈串刺し演算機能 (ジオフォーミュラ)〉ウィンドウが開いたら、[ダイアログによる新規フォーミュラの作成 (Create new formula using dialog)] トグルをオンにして、[OK] をクリックします。
- プロンプトが出たら、処理用の入力オブジェクトを選択します。
- [スクリプト (Script)] パネルをクリックして、SML スクリプトを入力します。
- [出力]パネルをクリックして、出力ラスタのデータタイプを選択します。
- [実行 ...] ボタンをクリックして、出力ラスタを保存します。



さらに知りたいことがあれば...

以下の入門書をご覧ください ジオフォーミュラを使う (Using Geospatial Formulas)

